



—淡路の情報いっぱい！生活創造しんぶん—

月刊

ポケットあわじ

4月

もく もく
木 木 リサイクル

VOL.249

もく
じ

P1・Wood Luckプロジェクト P2・淡路島のきの鉛筆 P3・慶野松原松の植樹活動 P4・一刀彫 P5・思い出の「くすのき」・根っこアート
P6 淡路文化会館・淡路県民局・淡路くにうみ協会からのお知らせ P7.8 淡路の文化活動・イベント情報



「地域探究プログラム」全国ステージで金賞

南あわじ市八木馬回集落の獣害問題に着目

人の優しさがあふれる
淡路島が大好きです。

みんなに笑顔を！持続可能な幸せサイクル

獣害対策で伐採した木を
加工してできた作品

どんぐりアート

洲本実業高校の

Wood Luck プロジェクト

ジャムの販売

カッティングボード

エコバッグ

ワークショップ

洲本実業高校3年生女子10名が、授業の一環で取り組んだ“Wood Luck プロジェクト”。「みんなに笑顔を！持続可能な幸せサイクル」をテーマに、昨年4月活動がスタートしました。

プロジェクトでは、南あわじ市八木馬回集落の獣害問題に着目し、獣害対策で伐採した木を加工したカッティングボードや同集落で採れた農作物、果物を使用したジャムなどを洲本のイベントで販売。また、同集落産のヒノキを利用して、どんぐりアートを創るワークショップなども開催。子どもから大人まで多くの人に集落が抱える獣害の問題を知ってもらい、その解決に向けた活動に参加してもらうなど、大きな成果を挙げました。昨年12月には、全国高校生体験活動顕彰制度「地域探

究プログラム」近畿地区予選で活動を発表し、全国切符を獲得。そして、今年2月の全国ステージでは見事金賞を受賞しました。

プロジェクトの発表を担当した3名にお話を伺いました。「無事に活動をやりきれたのは、地域の方をはじめたくさんの人の協力や支援があったおかげ。10名が3つのグループに分かれ、それぞれの役割を果たす段階では難しい面もあったが、みんなで意見を出し合いながら大きな目的を達成できたことが嬉しい。」また3人は、「人のやさしさ、あたたかさがあふれる淡路島が大好きです」と話してくれました。島の活性化に大きく貢献してくれたWood Luckプロジェクトチームに拍手です。
(応援隊：瀬戸 由美子)

淡路島の端材を活用して鉛筆を作っています。



淡路島ひのきのえんぴつ

檜

淡路島の香りを
楽しめる鉛筆です。



檜の端材

問い合わせ先 HIRAMATSUGUMI 洲本市中川原555 TEL 0799-25-8315

無塗装なので
木のぬくもりが
伝わってきます。



1箱6本入り

書きやすさが
うれしい「2B」

淡路島の檜（ひのき）で「えんぴつ」が作られているのをご存知でしょうか。鉛筆を作っているのは、淡路島の山の木を活かしたいと日々活動されていて、木にかかわる人たちが集まったメンバー「JINO」（地元という意味）で、「木に触れる、使う、考える」ということをコンセプトとして、4年前から作り始めました。

JINOでは、淡路島の檜を使って建てられた家の端材（余ってしまった材料）を使って何かできないかなと思っていました。それには、子どもからお年寄りまで誰でも手に触れることができる鉛筆がいいのではないかと思います、作ることにしました。製作は、神戸市で鉛筆を作っている知人がいたのでそこに依頼しました。

JINO鉛筆を手にとると、無塗装なので木の感触が伝わってきます。また、削るたびにほのかな檜の香りが立ちます。鉛筆の濃さは「2B」で小さな子供からお年寄りまで使いやすいようにしています。

今回の取材に伺ったHIRAMATSUGUMI代表の平松克啓さんは、「淡路島の素材を使った家づくりで、淡路檜の端材を活用して製作した鉛筆です。ぜひご利用していただきたいと思います」と話されていました。

この鉛筆は1箱6本入りで販売されています。箱は三角形でとてもおしゃれです。プレゼントやお土産などにもいいですね。
(応援隊：田処 竜久)

**JINO えんぴつ
取扱店**

そらみどう
南あわじ市市福永427-5
電話 0799-42-0932

うずの丘 大鳴門橋記念館
南あわじ市福良丙936-3
電話 0799-52-2888

ジョイポート南淡路
南あわじ市福良港
うずしおドームなないろ館
電話 0799-52-0054

松

慶野松原根上がり隊 松の植樹活動



慶野松原の松林の保護活動をしている根上がり隊。設立メンバーはゼルニク早織さん、神庭裕美さん、岡本征子さん。慶野で生まれ育った幼なじみで、小さい頃から海や松林で遊び、大人になった今でもBBQをして遊ぶ仲です。日本の夕日百選にも選ばれ、観光地としても知られる慶野松原ですが、近年は観光客が減少し、枯れた松が目立つようになってきていました。そこで、何とかして慶野松原を活気づけたい、人の訪れる賑わいの場所にしたいと、2014年7月12日にボランティア組織「根上がり隊」を設立しました。たった3人のメンバーから始まった根上がり隊ですが、今では約30人のメンバーが在籍する団体になりました。

最初の活動は、兵庫県から兵庫元気松の苗木を100本もらい、福岡造園さんの指導の下、植樹祭の開催でした。当初は島外から持ち込んだ松の苗を植樹していましたが、慶野の松は慶野の遺伝子を持った松が良いと

考え、自分達で松ぼっくりを拾い、種を取り、きのこの松露の孢子液に漬けて、3年間かけて苗を育てました。本数は少ないですが、完全な慶野産の松を植樹することができました。他にもゴミ拾いなどの保全活動、出身校の松帆小学校での環境体験学習、海ホテル観賞会に続く活動の一つ、教育委員会との共催で、『マツとキノコのフィールドワーク』も開催し、慶野松原の魅力を発掘、発信しています。2020年には、松原に生息する植物やキノコなどを集めた、フォトブックも発行しました。

一見松の木以外何もなさそうに見える松林ですが、じっくりと歩いて樹を見てみると、実は松原にしかない生き物、植物があることを知りました。これからも、美しい松原の保全や魅力を発信していく根上がり隊の活動は続いています。

(応援隊：坂本厚子、
村上紀代美、川原雅代)





十一面千手観音像

空間も時間も独り占め
そんな仕事部屋から
生まれる物

一刀彫

川上彰さん

南あわじ市津井



約130体の仏像が並ぶ
仕事部屋

ポケットあわじの応援隊が川上彰さん（79才）の仕事場（南あわじ津井）にお邪魔したのはこれが2回目。7年ぶりでした。技術、理科の中学校教師、そして校長。退職した後も、仕事や地域の役職を続けるかたわら、独学で木彫りの仏像作りを始めました。仏像に惹かれ5年間で京都、奈良の仏像を訪れること200ヶ寺。もらったパンフレットや写真をもとに、誰に教わることもなく木彫りの仏像彫刻を始めたそうです。



なでなで

木の持つ温かさと
仏様に惹かれて
始めた仏像作り



川上彰さん御夫婦

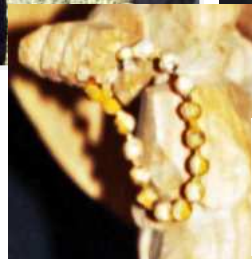


如意輪観音像

観音様の数珠も
一つの角材から
できています。



朽ちた木の中に
たたずむ仏様



小さな子どもが学校から帰った時、机の上の仏様の頭をなでて「ただいま」って言えたらホッとするだろうな。そんな仏様を作りたいなと。（そう、小さな子どもはお孫さん）そうして、木の持つあたたかさと仏様に惹かれて仏像づくりを始めたそうです。仕事部屋には十一面千手観音像や、台座の下に龍がとぐろをまく如意輪観音像。阿弥陀様をお守りしている十二神将。あちこちの有名寺に行った気分です。空間と時間を独り占めにできる仕事場には、現在130体ほどの木彫りの仏像が並びます。ちなみに前回の取材時には80体。今では集中すれば一日でひのき一体を仕上げることも。材料となる 檜 の角材に直線を引き、工作用カッターナイフで要らない部分を落としていきます。観音様の小さな指に持った数珠も、元は一つの角材から。目に止まったのは、虫が食い朽ちた穴の中にたたずむ仏像。庭の枯れて腐ってしまうような木にも、再び命が吹き込まれていくようです。空間も時間も独り占めの仕事部屋で、木彫り彫刻に打ち込む川上さんからのアドバイス。『年をとって一人でもやっていけるような趣味を持つことが大事やなあ!!。』

（応援隊：村上紀代美、坂本厚子、川原雅代）

淡路市立大町小学校

思い出の「くすの木」



直径 60cm



卒業生の思い出がつまった「くすの木」の切り株

淡路市立大町小学校体育館の玄関には、大きな「くすの木」の切り株が置かれています。切られる前の「くすの木」の写真と、「くすの木」のいわれが掲示されています。

大町小学校の児童なら、誰でもこの「くすの木」のことをよく知っていて、誇りに思っています。それは、入学時の校内探検の時、詳しく説明を聞くからです。また、この切り株は体育館の玄関に置かれているため、目に触れることが多いからでしょう。昨年、現校長の川野先生が着任された時、児童の一人が得意げに指をさして教えてくれたそうです。学習発表会など、いろいろな機会に住民の皆さんが利用することの多い体育館です。

実は私は、「木」の特集を組むにあたり、この「くすの木」の切り株をすぐに思い出しました。私が保護者だった頃、校門近くに青々とした大きな木がありました。ところが、孫の学習発表会を見に行った時には現在の切り株になっていました。平成3年に、小学校の改築工事と県道拡張工事のため、校門近くにあった「くすの

木」は切られました。そこで、この木を記念に残そうと切り株を保存展示することになりました。「くすの木」のいわれに書かれているように、子供たちの成長の象徴であった「くすの木」は、今でも子供たちの成長の証である通信簿の表紙に「くすのき」と記され、残っています。また、「くすの木賞」は児童の頑張りを表す記録証やシールとして、脈々と続いています。みんなの思い出がいっぱい詰まった「くすの木」は、世代を繋ぐ架け橋です。

この「くすの木」は、昭和天皇御生誕記念（1901年）に植樹されたものです。大町地区では、校門以外の場所にも植えられ、高倉山にはその時に植えられた「くすの木」が、高さ20～30m・周囲70cmの大木となって青々とした葉を茂らせています。（応援隊：米田 静子）

～枯れた木の根っこを磨き飾り物に～

今も輝く亡き父の形見の作品



根っこアート



私の幼少期は、父親が山の上の小さな田畑にタバコを植え、その後は米作りをしていたのを思い出します。その周りの山には、松やクヌギ、カシ、シイ、クスなどの色々な種類の木が空高くそびえ立っていました。子どもだったので、よけいに大きく感じたのでしょう。その落ち葉を集めて堆肥を作っていました。タバコの苗床には落葉堆肥が大切だったことを思い出します。

台風などで山の木が根っこから倒れたりしていると、父はその根っこを近くの池に運んで長い間つけておき、その木の種類によって違いますが、木の根っこを家に持ち帰り、ていねいに皮をむき、いろいろな形に見立てて紙やすり（サンドペーパー）で磨き、仕上げはニスを塗って、つやを出し、形を整えて作品として並べます。

これは何の形をしているの

かなど、満足そうに話し、知り合いや親戚の人から「ウーすごいなー」とほめ言葉をいただくと、「一個持って帰り」と、気前よくプレゼントしていました。

田畑の仕事から卒業すると趣味を楽しんだ父ですが、亡くなって今年で13回忌を迎えます。ご近所やPTA、老人会などでご一緒させていただいた方々から、今でも私たち家族の知らなかった父の一面を教えていただくなど、形見の作品を見るたびに、改めて父の人間性を見直すなど、父が元気だったころ、もっと優しく、ゆっくり話を聞いていればと後悔することが多いこの頃です。

（応援隊：廣岡 ひろ子）



淡路文化会館からのお知らせ

60歳から始める大学
淡路文化会館
いざなぎ学園

受講生募集

募集期間 令和5年1月18日(水)～4月7日(金)

申込方法 詳細申し込み方法は、下記までお問い合わせください。
また、「淡路文化会館」のホームページからも申し込みできます。
いざなぎ学園の詳細はホームページ内の「学園だより」をご覧ください。

＜あなたも淡路生活創造応援隊に参加してみませんか？＞

- ◎主な活動内容：月刊情報誌生活創造しんぶん『ポケットあわじ』に関する取材・寄稿・配布等です。
 - ◎主な活動日：毎月最終木曜日の編集会議
(楽しい賑やかな情報交換の場となっています。)
 - ◎会議の場所：淡路文化会館(淡路市多賀600)
 - ◎募集条件：淡路島内にお住まいの方で、生活創造活動に理解のある方ならどなたでもOK
- 【問い合わせ先】
淡路文化会館
TEL：0799-85-1391
FAX：0799-85-0400



淡路について詳しくなりますよ～

【兵庫県からのお知らせ】この面に掲載の高齢者大学については、県の方針により、いっそうの講座の充実とより学びやすい講座とするため、令和6年度より運営事業者の選定を公募方式とし、学習期間や講座内容を変更する方向で現在検討中です。詳細は決まり次第お知らせします。
お問合せ先：078 362 3894 兵庫県県民生活課

兵庫県淡路県民局からのお知らせ

暗証番号を聞いてくる還付金詐欺にご注意を！

金融機関や市役所の職員などを装い、医療費や保険料などを還付するという理由で、振込先銀行、口座番号、暗証番号などを聞き出し、勝手にインターネットバンキングが開設され、預金を引き出す被害が発生しています。これまで、ATMで振り込ませる手口が主でしたが、ネットバンキングの便利さを利用した詐欺になっています。

被害にあわないための注意点

- ・金融機関や市役所の職員が暗証番号をお聞きすることは一切ありません。「暗証番号が必要」という内容の依頼は詐欺ですので、ご注意ください。
- ・カードが手元にあっても、暗証番号を伝えてしまうことで、預金の引き出しが出来てしまうことがあることを覚えておきましょう。
- ・万が一、暗証番号などを伝えてしまった場合は、早急に銀行、警察に連絡してください。お金が返ってくるという電話は、詐欺の可能性があると日頃から注意しておくといでしょう。



困ったときは、消費者ホットライン「188」へ

淡路県民局交流渦潮室県民・商工労政課
(消費者センター) ☎0799-26-3360



(一財)淡路島くにうみ協会からのお知らせ

☆花による街道づくり活動への助成

島内の国道・県道沿いの10㎡以上の花壇(休耕田も含む)を継続して維持管理できる個人や団体に対して、花苗などの植栽費や維持管理、花壇整備費を助成します。

■募集期間 令和5年3月1日～令和6年2月20日

■募集方法 当協会から申請書をお取り寄せいただきお申し込みください(申請書は当協会ホームページよりダウンロード可)。

☆「あわじ花へんろ 花の札所スタンプラリー」開催 (開催期間：2023.3.1～2024.2.29)

当協会では花の島・淡路島を満喫していただくため、「あわじ花へんろ」スタンプラリーを実施しています。

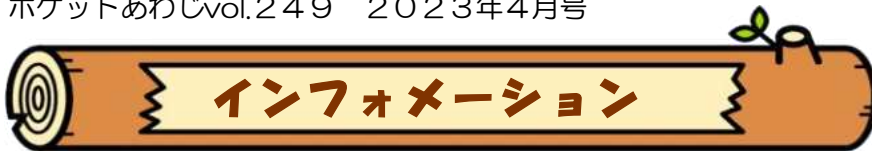
島内の花の札所74施設を巡りスタンプを集めると、2024花の札所カレンダーや高級淡路牛など淡路島の特産品が抽選で当たります。

まずは右記QRコードからダウンロード！
詳しくは当協会へお問合せください。

あわじ花へんろ



申込・問合わせ先：(一財)淡路島くにうみ協会
電話：0799-24-2001 FAX：0799-25-2521
Eメール：awajishima@kuniumi.or.jp
URL：https://www.kuniumi.or.jp



ご注意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路市立しづかホール

所 〒656-2132淡路市志筑新島5-4
☎ 0799-62-2001 F0799-62-6465
Mail : info@shizukahall.com
休 火曜日

しづかホールでスタインウェイを弾こう！

人気のイベントのため、すぐに予約が埋まってしまう。参加ご希望の方はお早めにお申込みください。

日 4月15日(土)10:00~17:00(60分/区分)
※年4回開催

¥ 1区分・1人1,500円(先着順)

会 淡路市立しづかホール

しづか少年少女合唱団

初心者でも大歓迎です。みんなで合唱する楽しさを体験してみませんか。

※初回体験無料/随時募集中！！

日 4月8日(土)・22日(土)14:00~15:30

会 淡路市立しづかホール リハーサル室

【対象】小学生

¥ 1,000円(月2回)

用 淡路市立しづかホール

☎ 0799-62-2001

MAIL: info@shizukahall.com

ホームページ: http://shizukahall.com/

淡路文化会館からのお知らせ

**2022 淡路島
ココだけの文化祭**

**淡路文化会館HPにて
動画配信中**

出演団体

- ① 堀井子供会人形浄瑠璃団
- ② 淡路市立芸術保存会
- ③ 南淡路高等学校ギター・マンドリン部
- ④ 亀岡市立中央三善秀夫三味線・横笛演奏会
- ⑤ ビリーレイブ・クミコ・フラスカール
- ⑥ 岩瀬地区芸術保存会
- ⑦ 県立淡路高等学校ミュージックダンス部
- ⑧ 琴田流大正琴保存会
- ⑨ 初太郎楽団

◆洲本市文化体育館

所 〒656-0021 洲本市塩屋1-1-17
☎ 0799-25-3321 F0799-25-3325
休 火曜日(祝日の場合は翌水曜日休館)

**第8回 ピアノ/マラソン
~スタンウェイの音色でつなぐ
心のル~**

世界的ピアニスト中村紘子さん選定の銘器、スタンウェイピアノをリレーのように参加者が引き継いでいきます。終日、人から人へ、音楽する楽しさをつなげていきます。

日 4月9日(日) 10:00~

会 文化ホール『しばえもん座』

¥ 演奏参加有料 要申込 入場無料

問 問い合わせ・お申し込み

淡路ピアネットインターナショナル(API)

TEL:090-8529-7311(板倉)

**モーツァルト作曲
歌劇「ドン・ジョヴァンニ」
ええとこどり! ハイライトコンサート**

ハイライトコンサートでは、“ええとこ”ばかりを集めた、楽しくオリジナルな演出でお贈りします。初めて観る方も、大好きな方も是非、ご覧ください。

日 4月23日(日) 開場 14:30 開演 15:00

※約100分/休憩あり

会 文化ホール『しばえもん座』

¥ 前売券500円全席指定

※未就学児童入場不可

問 問い合わせ・チケット販売

洲本市文化体育館

TEL:0799-25-3321

**第23回フォトクラブ21
写真展「光彩」**

どんな状況でも風景から会話が聞こえ物語が生まれています。私たちは豊かな自然に想いを馳せ、出会いの感動を映像美に託しています。それぞれの個性を生かした最新作を是非ご覧ください。

日 4月28日(金)10:00~30日(日) 16:00

会 文化ホール 会議室2C

¥ 入場無料

問 フォトクラブ21

☎ 0799-22-3031(寺岡)

◆淡路人形座公演案内

所 656-0501 南あわじ市福良甲1528-1地先
☎ 0799-52-0260 F0799-52-3072
Mail : awajiningyo@gmail.com

定 時 公 演

半日で 淡路人形をまるごと (バックステージ・神事・人形浄瑠璃) を体感しよう！

4月1日(土)、8日(土)~28日(金)

「バックステージ」・「人形浄瑠璃」・「戎舞」

時 10:00~、15:00~

「人形浄瑠璃」・「傾城破の鳥門」・「順路の段」

時 11:10~、13:30~

4月2日(日)

「バックステージ」・「戎舞」

時 10:00~、11:00~、13:30~、15:00~

4月3日(月)~7日(金)

「バックステージ」・「人形浄瑠璃」・「戎舞」

時 10:00~、15:00~

「人形浄瑠璃」・「日高川相対王 浪し場の段」

時 11:10~、13:30~

4月29日(土)・30日(日)

「戎舞+」・「バックステージ」

時 10:00~、11:10~、15:00~

「淡路人形座ええとこどり 或る夜の段」

時 13:30~

¥ 大人 1,800円 中学生1,300円

小学生1,000円 幼児 300円

※上演内容は変更になる場合があります。ご了承ください。

**淡路人形座へご来座される
お客様へのお知らせとお願い**

国及び自治体の定める新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインに基づいて、感染予防処置を実施しております。お客様にはマスクの着用、手指の消毒、検温の実施等へのご協力をお願い申し上げます。

【定時公演】

時 10:00、11:10、13:30、15:00

【4月の休館日】

4月5日(水)、12日(水)、19日(水)、20日(木)、26日(水)

問 淡路人形座

会 〒656-0501

兵庫県南あわじ市福良甲1528-1地先

☎ 0799-52-0260 F0799-52-3072

Mail awajiningyo@gmail.com

インフォメーション



ご 注 意

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、各イベント開催予定が変更されることもありますので、お出かけ前には、主催者にお問い合わせをされますようお願いいたします。

◆淡路島国営明石海峡公園

所 〒656-2306 淡路市夢舞台8-10
☎ 0799-72-2000 F 0799-72-2100

春のカーニバル

桜、チューリップ、ラナンキュラス、ネモフィラ、リビングストーンジー、ゴデチアなどのお花が順番に咲く「春のフラワーリレー」に合わせて、期間中の土日祝には、様々なイベントを開催。

日 3月18日(土)～5月14日(日)

¥ 参加費はイベントにより異なる

※別途入園料、駐車料金必要



◆兵庫県立淡路夢舞台公苑温室 あわじグリーン館

所 〒656-2306 淡路市夢舞台4
☎ 0799-74-1200 F 0799-74-1201

時 10:00～18:00

(最終入館は閉館の30分前)

スプリングガーデン

日 3月18日(土)～5月14日(日)

時 10:00～18:00

¥ 入館料 一般750円、70歳以上370円、高校生以下無料

※70歳以上は、生年月日記載の証明提示



宝石のような花が見ごろに！

● 宝石の塔・エキウム

● 翡翠のような色・ヒスイカズラ

※開花状況はお問い合わせください。



【ヒスイカズラ】



【エキウム】

◆淡路文化会館

所 〒656-1521 淡路市多賀600
☎ 0799-85-1391 F 0799-85-0400
時 9:00～17:00 ¥ 観覧無料

今月の美術展示

〔グループ展(七彩会)〕

これまで表現してきた作品を、皆さまにご覧いただきたい。

日 4月18日(火)9:00～4月28日(金)15:00

時 9:00～17:00

会 美術展示室

〔井村澄展 船舶模型展〕

高齢者が刻の経つのを忘れ、超アナログで創り出す絶妙優雅な船舶模型の展示会。観覧者に感動と癒しと元気を与える。

日 4月29日(土)9:00～5月14日(日)17:00

時 9:00～17:00

会 県民ギャラリー

謝罪と訂正について

247(2月号)「豆」のPage5「中華バレンタイン 『源』」で、本文3行目でトウチーのことを、黒い豆板醤と紹介しましたが、豆板醤ではありませんでした。味付けは、写真にある「ピーシェン ドー バン」3年間熟成させた黒豆板醤を使用しています。



ろろ豆を発酵させ熟成した黒い豆板醤で味付けをしています。

ここに訂正しますとともに、お詫び申し上げます。

編集だより

私たちの生活に欠くことのできない木。山々の芽吹き、花、果実、紅葉、落葉の楽しみ。木の利用・再利用(リサイクル) 海岸に漂着した流木の白さは一つの芸術品。古民家の匂い。私たちは木が大好き。特集お楽しみいただければ嬉しいです。

《 応援隊 米田 静子 》

「ポケットあわじ」は、応援隊の手により取材や編集がされ、月に3,500部発行しています。そして、島内各市の庁舎・公民館・商業施設など約250ヶ所に無料配布しています。今後も生活情報新聞として、豊かな情報をお届けしたいと思いますので、ご愛読よろしくお願い致します。また、読者の皆さまからのお便り、情報をお待ちしています。

なお、バックナンバーを淡路文化会館のホームページに掲載していますので、こちらも是非ご覧ください。

(発行)淡路生活創造応援隊 淡路文化会館 淡路文化会館運営協議会

〒656-1521 淡路市多賀600

☎ 0799-85-1391 F 0799-85-0400

E-mail : a-pocket@hyogo-ikigai.or.jp

H P : <https://www.awaji-bunkakaikan.jp/>

私たちはポケットあわじを応援します。

